

成果と課題

- ◎人権尊重教育推進校として東京都教育委員会から指定を受けたことをきっかけに、アンコンシャス・バイアス（性別による無意識の思い込み）の見直しや改善を図ることができた。
- ◎人権に関する意識調査より【令和4、5年度実施 肯定的評価について R4 → R5】
 - 【生徒】あなたは学校で自分らしく生きていますか。 R4 90% → R5 92%
 - 【保護者・地域】学校教育において男女平等が実現できている。 R4 71% → R5 88%
 - 【教職員】子どものプライバシーに配慮ができていますか。 R4 57% → R5 90%
- ◎「人権サポーターズ」が発足し、多様な考えや意見を生徒と共有できる場を設けることができた。
生徒の「意見」や「想い」を知ることで学校の様々な環境を見直すことができた。
→生徒全員にとって過ごしやすく、生活しやすい学校の実現
- ◆教職員としての人権感覚を磨き続けるためにさらに校内研修を充実していく必要がある。
- ◆研究を進めていくために、教職員のこれまでの経験や価値観の違いにより共通理解には多くの時間を要した。
- ◆学校の教育活動全体や様々な取組を通して、自信をもって自分の考えを表現し、行動できる生徒の育成を今後も図っていく。

御指導いただいた先生方（五十音順）

新宿区教育委員会 教育指導課 指導主事
筑波大学附属大塚特別支援学校 研究主任/教務主任
帝京平成大学 健康メディカル学部 准教授
教育系パラレルワーカー
東京都中央卸売市場食肉市場 元職員
東京都教育庁 指導部指導企画課 指導主事
はりまメンタルクリニック 院長
宝塚大学 看護学部 教授
早稲田大学 文学学術院 教授

★研究推進委員長 ☆研究推進プロジェクトチーム